

重点プロジェクト

(1) 重点プロジェクトの位置付け

基本構想における将来都市像「人とまちの輝きが未来を創る 緑の健都かめやま」の具現化に向け、前期基本計画における重点的かつ分野横断的な取り組みとして、「重点プロジェクト」を位置付けます。

なお、当該プロジェクトの推進に当たっては、行政経営資源の重点化や関連施策等の連動、組織横断的な連携、地域資源の活用、多様な主体との連携・協働や協創による取り組みを図り、その実効性を高めていくこととします。

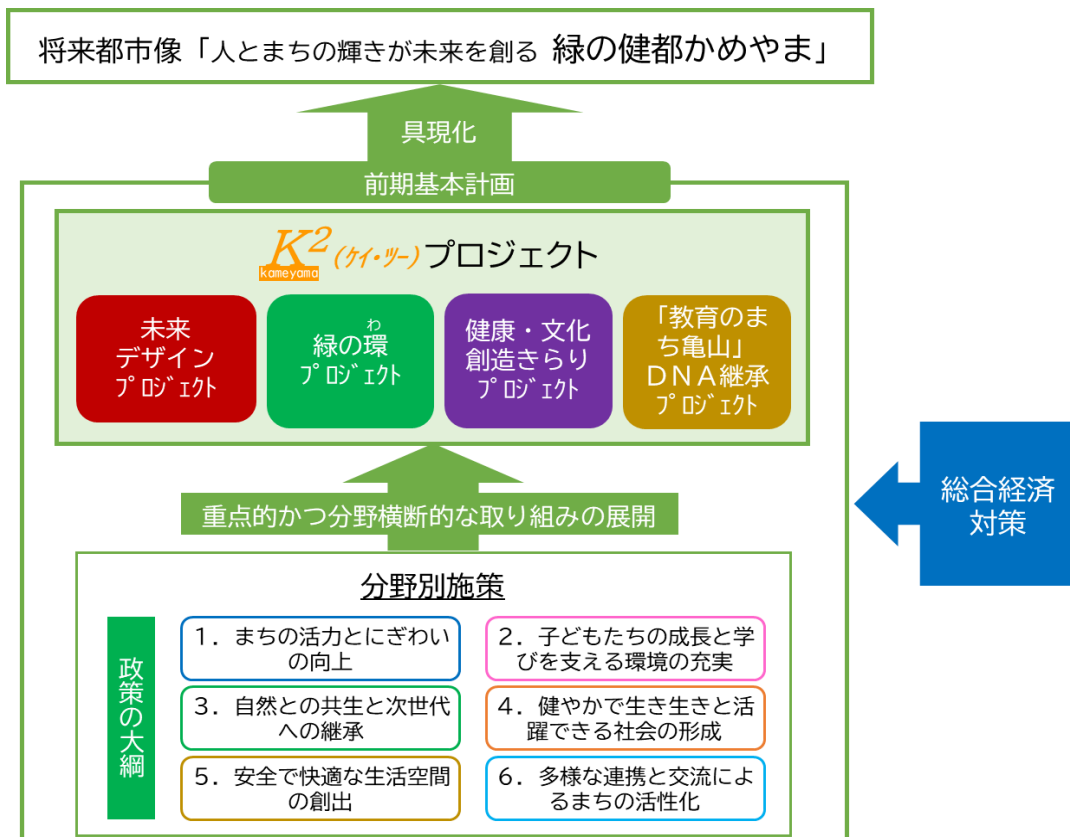
(2) 重点プロジェクトの基本コンセプト

本市は、豊かな自然環境と歴史的風致の中に、交通拠点性を生かした多様な産業集積がある、自然・歴史・産業が調和したまちであるとともに、人のやさしさやつながり、地域全体で次世代を育む風土等から、心地よい暮らしの空間が形成されています。

これらは本市特有の「地域力」であり、持続的に発展し続けられる「健康都市」を目指す上においても、大きなアドバンテージとなるものです。

そこで、本市がこれまで培ってきたまちの強みを生かしつつ、将来を見据え「亀山をもっと輝かせる」を基本コンセプトに、4つのプロジェクトで構成する「K²プロジェクト (Kameyama × Kagayaki)」を展開し、ウェルビーイングの向上や都市課題の解決等を図り、ここに暮らし、集う人々やまちの希望と活気の醸成につなげることで、「ここが良かった・・・」と実感できる「緑の健都」づくりを目指します。

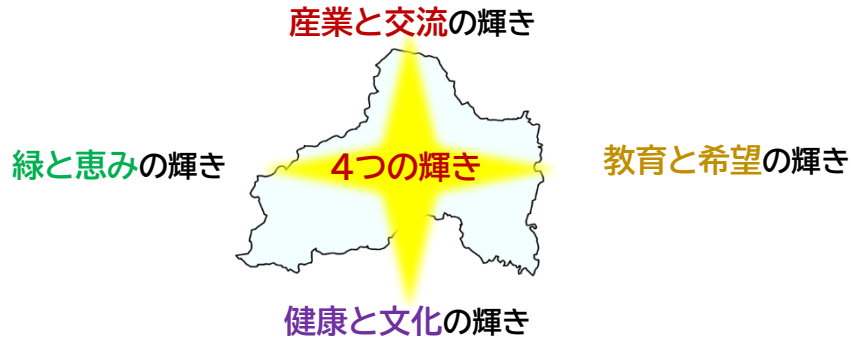
一方、当面の物価高による市民生活・地域経済への影響を鑑み、国の政策動向を踏まえた上で、臨時的な対策として総合経済対策にも取り組み、重点プロジェクトの効果的な推進につなげます。





プロジェクトの展開

強みを生かし、まちとひとを輝かせ、緑の健都かめやまを成長へと導く！



プロジェクト及びその推進プログラム

産業と交流

未来デザインプロジェクト【交通拠点×新産業×交流】

次世代産業の集積促進

中心拠点とネットワークのり・デザイン

都市ブランディングと多様な交流の促進

街道文化の魅力向上

緑と恵み

緑の環プロジェクト【自然環境×流域×QOL】

鈴鹿川等源流域の保全と活用

ネイチャーポジティブかめやまの推進

環境保全対策の強化

「水にこだわる」環境の充実

健康と文化

健康・文化創造きらりプロジェクト【健康×文化×地域力】

かめやま健康都市大学の拡充

市民主役の健康活動の促進

かめやま文化年の展開

「ひとりぼっちをつくらない」共生社会づくり

教育と希望

「教育のまち亀山」DNA継承プロジェクト【子ども×つながり×コミュニティ】

チャレンジできる環境の創出

家庭・地域教育力の再生

学校を核とした地域コミュニティの活性化

子どもの居場所空間の充実

未来デザインプロジェクト

産業と交流
の輝き

【交通拠点×新産業×交流】

■プロジェクトのねらい

中部圏と近畿圏の中間に位置し、広域交通ネットワークの結節点にある交通拠点性が生み出すポテンシャルは、本市が選ばれる大きな強みです。これまでも、人流や物流など多様な交流の促進が、全国屈指の街道文化や液晶関連産業の集積による内陸型工業都市としての発展を支えてきました。今後は、さらなる広域交通機能の向上も見据え、次なる都市成長へ向け、次世代産業の集積促進、市中心拠点の新たな空間形成、都市の魅力発信等に積極的に取り組み、まちの活力と魅力の向上を図ります。

■プロジェクト推進プログラム

● 次世代産業の集積促進

A I・半導体等の次世代産業の集積を促進するとともに、交通アクセスを踏まえた新たな産業基盤の確保を図り、地域の雇用・経済の活性化につなげます。

● 中心拠点とネットワークのり・デザイン

市の中心拠点であるJR亀山駅周辺における新庁舎や河川空間を活用した、歩いて回りたくなるウォーカブルな都市空間のデザインや、地域と中心拠点のアクセス性向上を図る公共交通ネットワークのり・デザインに取り組みます。

● 都市ブランディングと多様な交流の促進

亀山の本質的な良さ（亀山ブランド）を総合的かつ魅力的に情報発信するとともに、ビジネスや観光、DOMAプロジェクト等による関係人口など多様な交流を促進するほか、空き家活用等による移住の促進を図ります。

● 街道文化の魅力向上（歴史的風致の維持・向上×東海道57次）

東海道の街道文化が今なお息づく歴史的風致の保存・修景を図るとともに、その魅力発信や観光資源としての活用、さらには東海道57次としての広域連携に取り組みます。

緑の環プロジェクト

【自然環境×流域×QOL】

緑と恵み
の輝き

■プロジェクトのねらい

鈴鹿川等源流域をはじめとする豊かな自然環境を守り、継承していくことは、本市で暮らし活動する者すべての役割です。そこで、今後も、自然環境を守り、資源の循環を生み出し、自然に寄り添う暮らしを持続していくため、鈴鹿川等源流域の保全活動や自然環境に影響を及ぼす事業活動の抑制を図るとともに、ネイチャーポジティブなまちづくりを推進します。また、鈴鹿山系等の恵みである「おいしい水」の安定供給や水災害に対する流域治水に取り組み、自然と共生した豊かな暮らしにつなげます。

■プロジェクト推進プログラム

● 鈴鹿川等源流域の保全と活用

鈴鹿川等源流域の豊かな自然資源を守るため、保全活動や森林整備への支援、産学民官の連携による森林づくりを進めます。また、脱炭素社会の実現に向け、森林資源を活用した企業のカーボンオフセットの促進に取り組みます。

● ネイチャーポジティブかめやまの推進

すべての市民や事業者等が生物多様性を守り育むため、生物多様性の回復を図るネイチャーポジティブなまちづくりを目指し戦略的に取り組むとともに、環境教育の推進を図ります。

● 環境保全対策の強化（メガソーラー抑制・ポイ捨て禁止・次期ごみ処理施設整備）

自然環境に影響を及ぼす大規模太陽光発電施設の設置抑制や、身近な生活環境におけるポイ捨ての禁止、快適な日常生活に必要な次期ごみ処理施設の整備の3つの環境保全対策の強化に迅速かつ効果的に取り組みます。

● 「水にこだわる」環境の充実

鈴鹿山系等の恵みである水道水源を守り、「安全でおいしい水」の安定供給を図るとともに、水災害から都市を守る流域治水の取り組みなど、水資源にこだわる取り組みを推進します。

健康・文化創造きらりプロジェクト

健康と文化
の輝き

【健康×文化×地域力】

■プロジェクトのねらい

健康都市連合加盟都市である本市は、コロナ禍の経験も踏まえた中で、積極的な健康政策の推進や地域文化に支えられた文化活動を支援してきました。こうした取り組みを通じて、市民主体の活動や活発な地域づくり活動が本市の市民力・地域力を高め、QOLの向上につながっています。今後も、市民のヘルスプロモーションの向上や地域での助け合い・支え合いによる共生社会づくりに取り組むとともに、かめやま文化の向上によるまちの活性化を図り、安心と潤いのある心豊かな環境づくりにつなげていきます。

■プロジェクト推進プログラム

● かめやま健康都市大学の拡充

自然環境との関わりであるプラネタリーヘルスの概念も含めた、健康を基軸とする幅広く実践的な「かめやま健康都市大学」へ進化させることより、市民のヘルスリテラシーの向上と健都サポーターの育成を図ります。

● 市民主役の健康活動の促進

健康マイレージアプリを活用したウォーキング等の健康活動や、健都サポーターなど市民が主役となるラジオ体操やフレイルチェックなど身近な健康活動により、市民のヘルスプロモーションを促進します。

● かめやま文化年の展開

市民の文化芸術に関わる機会を創出し、様々な分野との連携によるまちのにぎわいや魅力の創出につなげるため、かめやま文化の創造と発信を目指す「かめやま文化年」を展開します。

● 「ひとりぼっちをつくらない」共生社会づくり

園や学校、民生委員・児童委員、地域など市民の暮らしに身近な存在と、亀山市社会福祉協議会のCSWをはじめとした関係機関が連携した重層的支援体制づくりを進めるとともに、心のサポーターや認知症サポーター、障がい者サポーターなど暮らしを見守る人づくりに取り組みます。

「教育のまち亀山」DNA継承プロジェクト

教育と希望
の輝き

【子ども×つながり×コミュニティ】

■プロジェクトのねらい

かつて「教育のまち亀山」と称された地域全体で次世代を育成する風土や気風は、人と人とのつながりを大切にする市民性や地域の文化・暮らしの中で醸成されてきた側面があります。これらを本市の人づくりの強みと捉え、未来を担う子どもたちの豊かな成長につなげるため、地域資源を活用したチャレンジ環境の創出や家庭・地域の教育力の再生、地域の活動拠点となる学校を核にした地域コミュニティの活性化、さらには、安全で快適な子どもの居場所空間の充実に取り組み、亀山らしい次世代育成環境を形成します。

■プロジェクト推進プログラム

● チャレンジできる環境の創出

子どもたちの自然や科学を体験する機会の創出や中学校部活動の地域展開、ジュニアスポーツの支援など、子どもたちの豊かな成長に向けたチャレンジを応援する環境づくりに取り組みます。

● 家庭・地域教育力の再生

子どもたちの心の拠り所である「家庭」と様々な経験の場となる「地域」における教育力の再生により、すべての親が安心して子育てできる環境づくりに取り組みます。

● 学校を核とした地域コミュニティの活性化

地域の拠点である学校を核とした子どもと地域、家庭が一体となった地域コミュニティ活動の活性化により、三世代交流の促進や地域文化の保存・継承、子どもたちの地域社会への学びや愛着を育み、本市の将来を担う人材の育成に取り組みます。

● 子どもの居場所空間の充実

子どもたちにとって居心地が良い居場所づくりに向け、亀山公園内への児童センターの移転・整備を進めることで、自然環境・公園や遊び場が隣接した安全で良好な子どもの居場所空間の確保に取り組みます。